

平成30年度地域少子化対策重点推進事業実施計画書（市町村分）

都道府県名 岐阜県

市 町 村 名	(中津川) 市		
事 業 名	中津川市新婚さんいらっしゃい事業	所要 見込額	2,400 千円
実 施 期 間	交付決定日 ~ 平成 31年 3月 31日		
地域の実情と課題 (これまでの市町村における少子化対策の取組全体及びその効果検証等から浮かび上がった地域の実情と課題について記述)	中津川市においては、市としての人口減少対策(「人口減少そのものを食い止める」「人口減少社会へ対応」の2つの視点に基づく)に取り組むための指針となる「中津川市まち・ひと・しごと創生総合計画」を平成27年度に策定し、計画的な取組を進めているところである。 中津川市では、移住定住促進策を積極的に進めており、市外からの移住者は増加しつつある。また少子化対策の1つとして、若者新婚世帯への生活支援に平成28年度より取り組んでいるが、平成28年度利用16世帯のうち11世帯15名が、市外からの移住者であったため、さらに市内在住者の利用を促進するため、市内事業者を通して、市内事業所で働く対象者への情報提供を行う。結婚活動支援や他の移住定住促進事業との連携により、結婚・出産・子育ての希望をかなえられる環境を整える必要がある。		
市町村における少子化対策の全体像及びその中での本事業の位置付け	中津川市「まち・ひと・しごと創生総合戦略」において、「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」を基本目標として、 ・結婚活動支援 ・若者新婚世帯生活支援 ・出産、子育て支援 ・中津川の未来を担う人材育成 ・高校生遠距離通学支援 ・ワーク・ライフ・バランスの推進 を施策として組み立て、総合的に推進しているところである。 本事業のうち、新規に婚姻した世帯に対する支援に係るものについては、上記のうち「若者新婚世帯生活支援」に位置づけられる。		
少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	中津川市まちひとしごと創生総合戦略より 本事業による新婚世帯の市内定住 20世帯(平成30年度) 26世帯(平成29年度)		
参 考 指 標	※婚姻数、婚姻率、出生数、出生率等 婚姻数:330件(中津川市統計書平成28年度版) 婚姻率:4.1(中津川市統計書平成28年度版) 出生数:633人(中津川市統計書平成28年度版) 出生率:8.0(中津川市統計書平成28年度版)		
事 業 内 容	1 優良事例の横展開支援事業	所要 見込額	千円
	(1) 結婚に対する取組	所要 見込額	千円
	個別事業名	所要 見込額	千円
	個別事業名	所要 見込額	千円
	(2) 結婚、妊娠・出産、乳児期を中心とする子育てに温かい社会づくり・機運の醸成の取組	所要 見込額	千円
	個別事業名	所要 見込額	千円
	個別事業名	所要 見込額	千円
	2 結婚新生活支援事業	所要 見込額	2,400 千円
上記「事業内容」の「1」について、「地方創生推進交付金」の申請の有無	無	「有」とした場合の事業名	

(注)

- 1 「地域の実情と課題」には、これまでの市町村における少子化対策の取組全体及びその効果検証から浮かび上がった地域の実情と課題について記載する。
- 2 「市町村における少子化対策の全体像及びその中での本事業の位置付け」には、地域の実情及び課題を踏まえた、市町村における少子化対策の全体像及びその中での本事業の位置付けを記載する。特に、本事業により、地域の課題がどのように解決されるかについて記載すること。
- 3 「少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」については、地域の実情及び課題を踏まえ設定した、市町村の少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標を達成予定時期を含め記載する。また、各市町村は少なくとも平成31年度終了時点で、各自自治体において効果検証を実施し、都道府県にその結果を報告すること。
- 4 「参考指標」には、各市町村の婚姻数、婚姻率、出生数、出生率のほか、その他参考となる指標を記載するとともに、毎年、その推移を報告する。
- 5 「上記「事業内容」の「1」について、「地方創生推進交付金」の申請の有無は、地域少子化対策重点推進交付金との重複を排除するためのチェック欄です。(「無」が前提となります)
- 6 適宜参考となる資料を添付すること。